

<主要施策名>

○国外・国内との多様な交流の推進

平成28年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線：生涯学習・スポーツ課 生涯学習係 内線 6-231

Plan
(計画)

主要施策名	国外・国内との多様な交流の推進							
施策区分	国際交流の推進							
施策目標	中学生を対象に姉妹都市のオランダ王国リッセル市との相互交流を実施し、生活様式の違いを肌で感じ、異文化に触れる機会を通して、国際性など広い視野を身につける。 また、姉妹都市としての親善交流を促進する。							
施策名	姉妹・友好都市との交流推進							
施策の目的	中学生を対象に姉妹都市のオランダ王国リッセル市との相互交流により、生活様式の違いを肌で感じ、異文化に触れる機会を通して、親善交流を促進するとともに、国際的視野を持つ明日の郷土を拓く青少年の育成を目的とする。							
H27最終予算額	1,934	千円	H27決算額	1,447	千円	H28当初予算額	1,901	千円

平成27年度事務事業の実施状況

D o (実施)	事業名	青少年対策事業（中学生使節団招請・派遣）	
	予算科目	2.1.12.1	
	実施状況	オランダ王国リッセル市ジュニア使節団招請事業（4/21～4/30） 1,447千円 （団長、副団長、中学校8人の計10人）	

平成27年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)

事業名	青少年対策事業（中学生使節団招請・派遣）		
必要性・妥当性	3 点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。	
優先性	3 点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）	
効率性	3 点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）	
経済性	3 点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。	
総合評価	4項目合計点数	12 点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下
	A		
評価の理由等	国際交流を通して砺波市を広めるとともに、関係者の価値観を高めることにもつながり、受入れする各中学校の評価も高い。		

事務事業の今年度、来年度以降の改善・改革案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H28）	中学生使節団をオランダ王国リッセル市に派遣し、交流事業を実施した。（4/19～4/30）

Action (改善)	来年度 (H29)	オランダ王国リッセ市からジュニア使節団を招請し、交流事業を実施する。
	中長期的 (3～5年)	オランダ王国リッセ市とは友好関係を継続しており、事業継続が望ましい。
	改善・改革を 実施する際の 課題又は阻害 要因とその解 決策	

■所属長評価

施策としての 総合評価	☒	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	☐	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	☐	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

☐ 重点化（コストを集中的に投入する） ☐ 効率化（費用対効果の改善を行う） ☐ 統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	☐ 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える） ☐ 簡素化（事業の規模や内容を縮小する） ☒ 現行どおり
	A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。
	姉妹都市との交流体験を通して、青少年の見識を高めることから、重要で必要と考えている。

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価	
今年度評価の理由	

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価に対する改善策	
-------------	--

平成28年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 教育総務課

学務係 内線 154

P l a n (計画)	主要施策名	国外・国内との多様な交流の推進						
	施策区分	国際交流の推進						
	施策目標	児童生徒の国際理解の推進と外国語教育の充実を図る。						
	施策名	国際理解の推進						
	施策の目的	国際化への対応を図るため、外国青年を招致し、外国語教育の充実と国際理解の推進を図る。						
	H27最終予算額	22,721	千円	H27決算額	21,492	千円	H28当初予算額	22,453

平成27年度事務事業の実施状況

D o (実施)	事業名	英語指導助手招致事業					
	予算科目	10.1.2.4					
	実施状況	中学校4校に各1名及び小学校専属ALT1名を配置し、中学校配置のALTには小学校へも派遣しながら市内小中学校の児童生徒の外国語教育の支援と国際理解への推進を図っている。 JETプログラムALT報酬4名分(14,315千円)、民間講師委託料1名分(4,806千円)					

平成27年度事務事業の評価及び分析

C
h
e
c
k
(
評
価
)

事業名	英語指導助手招致事業		
必要性・妥当性	3 点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。	
優先性	3 点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）	
効率性	3 点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）	
経済性	2 点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。	
総合評価	4項目合計点数	11 点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下
	A		
評価の理由等	学齢期から生の外国語に触れる機会を提供していることは、外国語教育の充実とともに国際化への対応として意義がある。		

事務事業の今年度、来年度以降の改善・改革案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改善)	前年度二次評価結果及び理由	引き続き、英語指導助手招致事業について、民間委託ALTと自治体国際化協会の幹旋(JETプログラム)によるALTの状況と費用対効果を比較検証し、どちらが適当か検討すること。					
	前年度二次評価に対する改善策	民間委託と自治体国際化協会の幹旋(JETプログラム)によるALTについて、経費の比較をした結果、大きな差はなかったが、交付税措置の有無で差があった。 一方、民間委託は労務管理事務の軽減が図られる、配置されるALTの質が保証されている等のメリットがある。 今後、経費面に加え、学校現場での状況も考慮し、引き続き検討してまいりたい。					
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	・自治体国際化協会からの任用と民間委託について、経費の比較を行ったが大きな差はなかった。ただし、自治体国際化協会任用の場合は渡航旅費及び報酬につき交付税措置が成されている。 ・経費面以外ではメリット、デメリットがそれぞれある。 ・民間委託では、労務管理事務の軽減など可であり、交付税措置はないが、当面現行の2方法を継続する。					
	今年度(H28)	平成24年度から姉妹都市のあるオランダ王国からALTを招致しているが、今後も4名中1名はオランダ王国からの招致を継続する。					

Action (改善)	来年度 (H29)	能力の高いALTについては、英語圏に限定せず、英語を母国語としない国からも積極的に招致を試みる。安易な契約更新を行わず、厳正に対処することで、レベルの低い外国語指導助手を切り替えていく。
	中長期的 (3～5年)	JETプログラムALT4名のうち、1名はオランダ王国からの招致を継続する。そして、リッゼ市との交流を深めるとともに、生涯学習・スポーツ課、企画調整課等課を超えて活動してもらい、砺波市自体の国際化も加速させる。 費用や事務負担の比較を行い、JETプログラムからの任用を継続するか、民間委託へ移行するかの検討を行う。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	平成24年度のJETプログラムの報酬規定の改正により、3年目以降のALTについては財政支出が増加することとなったため、勤務評定を適正に実施し契約の更新を行うもの。

■所属長評価

施策としての 総合評価	☒	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	☐	B評価	目標とした指標等に関わり到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	☐	C評価	目標とした指標等に関連せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

☐ 重点化（コストを集中的に投入する）	☐ 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
☐ 効率化（費用対効果の改善を行う）	☐ 簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
☐ 統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	☒ 現行どおり
所属長評価の理由 A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。 ・ネイティブな発音にじかに触れられること、また、コミュニケーション能力の高まりなど成果が上がっている。ALTの任用形態については、現在、自治体国際化協会からの任用と民間への委託（小学校4校）の2方法で行っているが、経費の比較では大きな差はなく、現在の形態が定着している。	

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	平成26年度で「改善」又は「廃止・休止」と判断された事務事業	
前年度評価	維持	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価		
今年度評価の理由		

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価に対する改善策	
-------------	--

